

科目名	IT基礎3		時間数(半期)	36 時間		
講師名	太田隼人		コマ数 (半期)	18 コマ		
曜日時限	月曜日	1 限	実務経験の有無	有・無		
単位数	2	単位	内部講師・外部講師	内部・外部		
実施形態	講義・演習・実習・eラーニング・見学					
開講期間	1・2 年 前・後 期		補講・特例措置	あり・なし		
スマホ持ち込み	可	不可	授業形態	対面	ZOOM	
採点方法	前期・後期の期末筆記試験・実技試験の評価点数範囲 S (秀) → 100～90点、 A (優) → 89～80点、 B (良) → 79～70点、 C (可) → 69～60点、 D (不可) → 59～0点					
	期末試験を評価の対象とする場合			全体の	%	
	D判定 (不可) の場合の再試験			有	無	
	D判定 (不可) の場合の課題提出			有	無	
	出席率を評価の対象とする場合			全体の	20%	
	小テストを評価の対象とする場合			全体の	20%	
	課題提出を評価の対象とする場合			全体の	0%	
	授業への取り組みの姿勢、態度			全体の	20%	
	公欠時の提出物			有	無	
	検定試験、資格試験			有	無	
	検定名	ITパスポート試験		検定料	7,500円	
概要	情報系への就職を目指す学生やITを使用する事務職への就職を目指す学生に必要なITの基礎知識のうち、基礎理論、コンピュータシステム、情報デザイン、情報メディア、データベース、ネットワークを学ぶ。					
学習目標	社会人として必要な基礎理論、アルゴリズムとプログラミング、コンピュータシステム、情報技術 (データベース・ネットワーク等) といった基礎理論とテクノロジーに関する基本的な知識を取得する。					
目標とするスキル (各項目について◎、○を記入してください)						
会話	意思疎通	○	協調性		自己表現	
職業人意識	責任感		向上心		勤労意識	
基礎学力	読み書き	○	計算能力	○	社会人能力	◎
ビジネスマナー	マナー		レター			
資格・専門知識	資格	◎	専門知識			

内容と時間数	1回	IT基礎 1～3 の概要、7-1基礎理論
	2回	7-1基礎理論
	3回	7-2アルゴリズムとプログラミング
	4回	7-3予想問題ディスカッション
	5回	7-X過去問研究
	6回	8-1コンピュータ構成要素
	7回	8-2システム構成要素
	8回	8-3ソフトウェア、8-4ハードウェア
	9回	8-5予想問題ディスカッション
	10回	8-X過去問研究
	11回	9-1情報デザイン・9-2情報メディア
	12回	9-3データベース
	13回	9-4ネットワーク
	14回	9-6予想問題 (9-1～18) ディスカッション
	15回	9-Y過去問研究 (技術要素)
	16回	10表計算 (予想問題含む)
	17回	IT基礎 3 : 復習演習
	18回	IT基礎 3 : 確認テスト
使用教材	オリジナル教材 ・ 市販教材 ・ 学校のコピー使用	
	市販教材の場合は出典名: ①よくわかるマスター令和4-5年度版ITパスポート試験対策テキスト&過去問題集 ②よくわかるマスターITパスポート試験 書いて覚える 学習ドリル	
	学校のコピー使用の場合は枚数: 枚/半期	
D判定時の救済措置 (有料)	D判定時の再試験、課題再提出については、有料とし60点が上限 (C判定) となる。1科目再試験、課題再提出の代金は2000円として職員室に支払うこと。	
関連科目	IT基礎 1、2	
備考	ITパスポート試験 (随時開催) の受験と合格を目標として授業と対策を行う。 学習効率を高める方法として、以下のことを実施する。 ①「書いて覚える学習ドリル」を宿題とする。 ②市販教材付属の「自動採点付き過去問題プログラム」を積極活用し、自主学習及び、授業にて取り入れる。 PC (OS:Windows10) は、1人1台必要となる。	